

市民と市長の意見交換会<松ヶ崎地区> 質疑要旨

日時：令和5年11月12日（日）16：30～18：00 会場：松ヶ崎総合センター

参加人数：13名

1. 市政について

市長より説明	<p>(説明内容)</p> <p>○3年半の施策の大きな2つの成果について（光回線の全島敷設、国事業による両津港の改修事業採択） 必要不可欠なインフラの整備</p> <p><令和6年度施策方針について></p> <p>○島の未来づくりの土台としての「教育」と「行政改革」について</p> <p>○「持続可能な島の実現」に向けた戦略について</p> <p>①「子どもから高齢者まで夢や希望が持てる島」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住人口増で社会減をゼロにするとともに、『産み育てやすい社会』をつくる <p>②「元気な経済と多様な人が活躍する島」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光で観光客を関係人口へ、そして交流人口へとつなげる ・企業を呼び込み起業も促進 ・循環型社会の実現で経済も動かす <p>③「防災力が高い安全・安心な島」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停電時のEVバッテリー活用で脱炭素を防災力強化にもつなげる <p>④「医療・介護・福祉を守る島」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療の確保に政策を総動員して取り組む ・医療の課題を介護、福祉で補完
--------	--

2. 質疑や意見

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
浜河内	<p>・佐渡汽船ターミナルの飲食店が開くのが11時であることや、船内売店が閉まっていること、月極駐車場の支払いが不便になったなど佐渡汽船のサービスが後退している。船の売店は佐渡の物産を広めるという役割もあったと思う。外部資本が入ったので難しいとは思いますが市民の想いと乖離してしまっている。黒字化も必要だが今後どうするのか市長から聞かせてもらいたい。</p>	<p>基本的に人手不足の問題がある。佐渡汽船は借金の返済を待ってもらって黒字化しているのので、借金を返すと利益は消える。</p> <p>みちのりホールディングはよくやってくれていると思うし、民間ではなく行政が運営したら必要最低の船しか運航しなくなる。</p> <p>他の運輸もそうだが、コロナ禍を経て運転手がいなくなったところに急に需要が増えたので足りなくなった。人材確保のためボーナスなど条件を良くする必要がある。</p> <p>今は港周りで観光客に「佐渡は楽しそう、楽しかった」と思ってもらえるような仕組みを作るように指示している。</p> <p>こがね丸あの船が入ったおかげでJF3隻体制になり欠航も減った。冬の間、朝一JFに「二等往復」料金で乗れるように要望している。</p>	交通政策課 観光振興課
丸山	<p>・光回線の導入は仕事の上でもありがたかった。</p> <p>・晩婚化が進む中で、自分も高齢出産といわれるような年齢だったが、佐渡市内で『羊水検査』が出来ず、妊娠中の子どもが健康かどうか分からず不安だった。</p> <p>・子どもが生まれて大きく変わったことは、市から送られる文書が多いことで、これはLINEやメールなどを使いペーパーレス化出来ないか。</p>	<p>・羊水検査については初めて聞いたので少し調べさせてほしい。</p> <p>・手続きのデジタル化は『書かせない窓口』を金井、佐和田、両津に設置し、この後拡大していくし、窓口に来なくても手続きが出来るように取り組んでいく。</p>	デジタル政策室 健康医療対策課 総務課
浜河内	<p>・子育て世帯だが、リフォーム補助金の抽選に落ち続けている。子育て世帯に優先して当たらないものか。</p>	<p>・抽選はコンピューターで行っているのので、今は考慮する余地はないが、制度として『子育て世代リフォーム』制度を作れば可能。過去にも下水道関係を優先するなどやってきたが、高齢者なども含めて様々な意見をいただいているので、考えさせてもらいたい。</p>	建築住宅課

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
浦ノ河内	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産に認定されれば、観光客は相川に行くと思うが、ホテルが3つも無くなりタクシー会社も相川にはない。補助金を出してタクシーを1台でも増やす必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーも観光バスも運転手不足が課題。この問題を解決する答えは無いが、運転免許の取得については支援を検討している。 ・宿泊施設については、農家民宿やゲストハウスを作ってもらえれば、計算上は十分と考えている。土日や夏場にだけ観光客が来る観光をやるつもりはない。ホテルだけでなく、観光施設や地域にもお金が落ちる観光の仕組みを作っていく。 	観光振興課 交通政策課
丸山	<ul style="list-style-type: none"> ・観光では情報を得られるということが必要。この地域の携帯電波環境が悪く繋がらないので改善してもらいたい。 ・昨年の大雪の際の停電で、携帯の電波塔の発電機は動いたようだが燃料切れで停止し、このあたり一帯で携帯が使えなくなったので、発信された情報が得られなかった。重点的に考えてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪で大規模な停電が起きないように、対策を講じているところ。停電を完全に防ぐのは難しいが、必要な場所まで行けるように四輪バギーやスノーモービルを使えるよう訓練などの準備を進めるほか、太陽光パネルと蓄電池の設置についても話している。 ・携帯の電波環境が悪い地区については、すぐには良くなれないと思うが携帯会社の社長が来庁したときにも要望しているし、公民館などへのWi-Fi設置なども含めて考えていきたい。 	デジタル政策室 防災課
浜河内	<ul style="list-style-type: none"> ・市道沿線や山間部など携帯の電波が通じないエリアを無くして欲しい。Wi-Fiを設置しても停電になるとダメ。今年になってこの地域は2回停電があったが、その時も山間地はどうしようもなくなった。スマート農業をやっている方で携帯会社を変えた人もいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望はしているが、鉄塔整備は長期計画の元やっている。引き続き話はしていく。5Gになってから繋がりが悪くなったことは自分も感じているので携帯会社に粘り強く伝えていくしかない。 	デジタル政策室
多田	<ul style="list-style-type: none"> ・関連して、女神山に携帯のアンテナを作るように要望してもらいたい。 ・いこいのむらの近くに塩工場があるが、そこまでの道は車一台がやっと通れる道で、大雪の際に木々が倒れて通行止めになり一週間も仕事が出来なくなった。このようなことがないように、両側の雑木や竹が大きくなる前に処理をしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全部は出来ないが、あとで担当部署から聞かせてもらう。 ・後ほど担当課に現場確認をさせる。 	デジタル政策室 建設課
浜河内	<ul style="list-style-type: none"> ・紅葉山公園について、紅葉山を愛する会が維持管理を行っているが、会員の高齢化と関心を持つ人の減少で、窮地に立っている。 地元の立派な財産なので、活性化の方策を考えている。管理のための市からの補助金もっているが、紅葉山の利活用に対して市の方からも手を差し伸べてもらいたい。観光交流機構とは話をしたが、何かちぐはぐな感じであったので、市の方から相談に乗ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうしたときのためにサービスセンター長がいるので、サービスセンターとよく議論して欲しい。大野亀のカンゾウも佐渡中から来て守ってもらっている。紅葉山もそれくらい素晴らしいところと思っている。市が何とかしろというと、「あそこもここも」ということになるのでできないが、大学生を呼んだり地元の人に協力してもらおうなどをセンターと話し合ってもらいたい。観光振興課と話をしても『いくつもあろううちの一つ』になってしまう。支所、サービスセンターを通じて観光やDMOに繋ぐほか、大学との連携を含めて多くの人に参加してもらうようにする。 	地域づくり課 観光振興課
浜河内	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎ができたが、市民の反応、感想はあるか。 ・市長から見て、新庁舎はどのように感じるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ市民からの反応は直接聞いてはいない。 ・並ばなくてよいようにセンター窓口で要件を聞いて担当者を案内するようにしているし、ようやくバリアフリーになったのが嬉しい。市民の窓口を1階に降ろして高齢者や妊婦が階段を昇らなくても良くなった。お客様が動かなくても職員が動くようにしている。 	総合政策課

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
浜河内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2庁舎の農業関係（の課）も入るのか。 ・ 窓口は全て1階にあるのか。 	<p>・ 古い庁舎は地震が起こると、崩れないが窓も落ちるし、仕事ができるつくりになっていないので、地震対策を行っている。職員も（来庁する）市民も安全にいられるように3月まで内装工事を行っているので、3月まで待ってほしい。</p> <p>新しい庁舎は百年使えるように建てている。人口が減って自宅でも手続きが出来るようになると、市役所は一番小さく出来る。将来の無駄な箱モノはいらなくなる。必要な小さな窓口は商店街の中などに持って行くことも考えられる。</p> <p>ただ、職員が災害からの復旧のための作業をする場所が必要で、そのための防災庁舎は必要。</p> <p>・ 窓口は大体1階にあるし、古い庁舎にはエレベーターが無いが各階に新庁舎からの通路がある。</p>	総合政策課